

すてきなじぶん はっけんのたび

小学校・1～2年生

I プログラムについて

1 人権教育上のねらい（普遍的な人権課題「自己尊重の感情」）

＝【人権感覚育成のための視点】

自分自身の生活や成長を振り返る活動を通して、自分ができるようになったこと、役割が増えたことなどが分かることで、自分自身に対する誇りを持ち、自分を価値ある存在として肯定的に認め、受け入れることができるようにする。

2 関連する教科等について

○学級活動

内容（2） 日常の生活や学習への適応と自己の成長及び健康安全
（イ よりよい人間関係の形成）

※生活 内容（9） 自分自身の生活や成長を振り返る活動
での実施も可能

3 人権教育上の視点

- （1）ありのままの自分を素直に、肯定的に受け止める態度を身に付けている。
（価値・態度）
- （2）アサーティブに自他の存在をかけがえのないものだととらえることができる。（技能）

II アクティビティーについて

1 概要

○活動1（全体）

学級全体で1年間を振り返る。

○活動2（個人）

自分の「すてき」をワークシートに書く。

2 準備するもの

- ワークシート1、またはワークシート2

3 アクティビティーの進め方

- 活動1 「おとなりさん いいねタイム」
 - ① 20秒間で隣の席の児童のよいところをたくさん伝える。
- 活動2 「すてきなじぶん はっけんのたび」
 - ① 1年間で振り返り、経験してきた活動を挙げる。
 - ② 自分の「すてき」をワークシートに書く。
 - ③ 隣の人とワークシートを交換し、互いに「すてき」を書き合う。
 - ④ 班内で「すてき」を見せ合う。
 - ⑤ 振り返りを行う。

4 アクティビティーを指導する際のポイント

- よいところを見付けるための視点をもつことは自己尊重の感情の育成にもつながるため、朝の会や帰りの会などを活用し、友達のよいところを伝え合う場を日常的に行うとよい。
- 自己尊重の感情の育成を図るため、教師は児童の発表や考えを共感的に受け止め、うなずきながら聞くようにする。
- 活動1や2で、友達からあまり「すてき」をもらえていない児童には、担任が適宜声掛けを行い、「すてき」の量に差が出ないようにする。
- 1年間の学習・生活・行事を想起する場面では、児童に自由に意見を出させ、教師が時系列や行事、教科ごとに分類して板書する。
- ワークシート1には、似顔絵をあらかじめ描いておくか、授業後に似顔絵を描かせたい。もともと学級に掲示している似顔絵、写真などを活用してもよい。
- ワークシート2は、ワークシート1に比べて書く量が少ないので、学級の実態に合わせて使うようにする。
- 学級の実態に応じて、ワークシート1、またはワークシート2を、事前に一旦書かせておくことも考えられる。
- 生活科で実践する場合は、導入で取り入れるとよい。

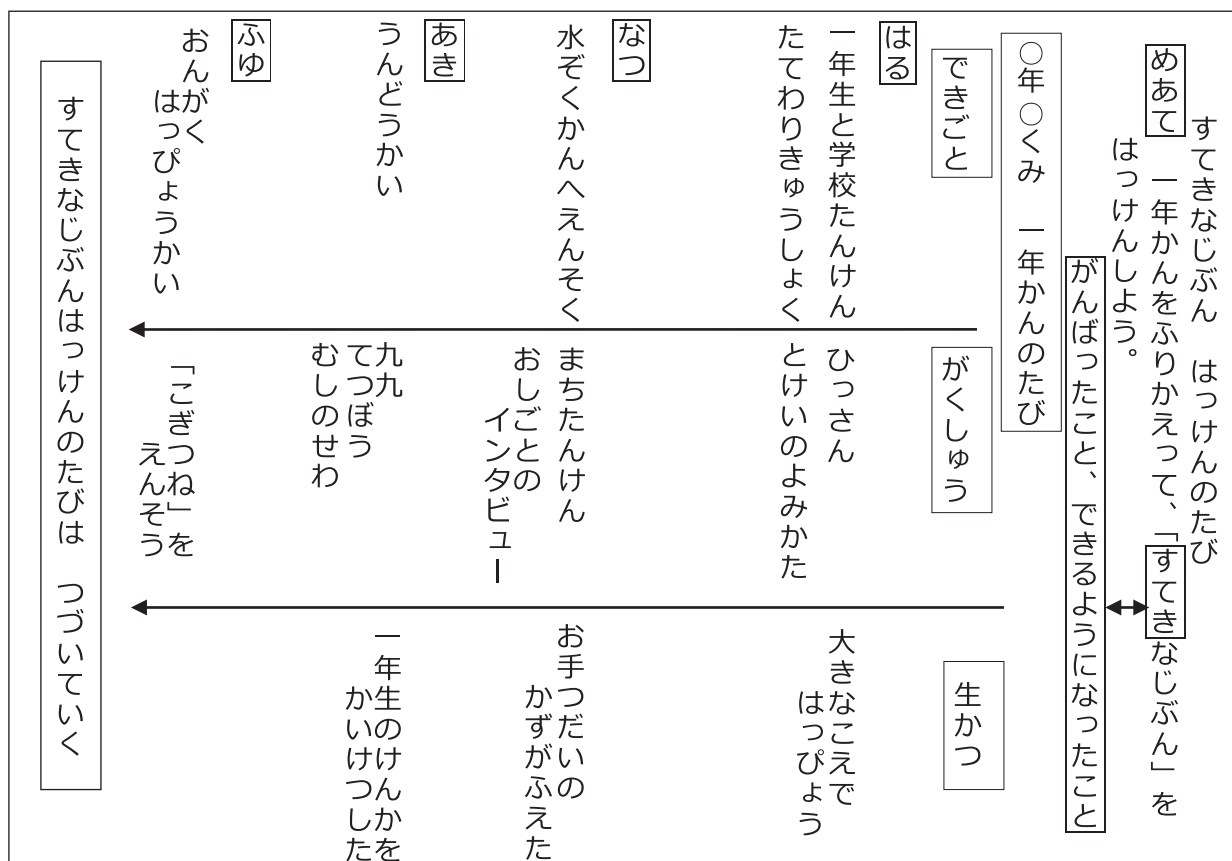
Ⅲ 授業の実際

時間	学習活動 発問 (T) 児童の反応例 (C)	教師の働きかけ (・) 人権教育上の配慮 (◎)
5分	<p>1 アイスブレイキング 「おとなりさん いいねタイム」 T おとなりさんのいいなと思うところを20秒間でできるだけたくさん言ってみましょう。 T 言われてどのような気持ちになりましたか。 C うれしくなった。 C 心がぼかぼかした。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ ルールの説明を簡潔に行う。 ・ 児童をリラックスさせ、展開につなげる。
35分	<p>2 学習内容の確認</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;"> すてきなじぶん はっけんのたび </div>	
	<p>3 1年間の学習・生活・行事の想起 T この1年間はどんな行事があったかな。思いつくものをどんどん言ってみましょう。 C 町探検、遠足、たてわりのお祭りがありました。 C こんなにたくさんあったんだね。 T 今度は、1年間の生活や学習を振り返ってみましょう。 C 算数では九九をがんばりました。 C 国語は「お手紙」の音読発表会をしました。 C 鍵盤ハーモニカでも色々な曲を演奏できるようになりました。 C お皿洗いのお手伝いができるようになったよ。</p> <p>4 「すてき」見付け T 自分の「すてき」をたくさん見付けて、ワークシートに書きましょう。 T 隣の人とワークシートを交換し、「すてき」を書いてもらいましょ</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 意見を出しやすくするため、例を挙げてよい。(運動会、かけ算など) ・ 1年間を振り返りやすくするために、多くの行事や生活、学習について出させる。 ・ 時系列に行事面、学習面、生活面ごとに分類しながら板書することで、視覚でも児童の成長過程をとらえられるようにする。 ◎児童の発表を、その時のエピソードを交えながら、共感的に聞き、板書することで、児童自身が成長を実感できるようにする。(態度・価値) ・ 「すてき」は、自分が「がんばったこと」や「できるようになったこと」であることを押さえる。 ・ たくさん「すてき」を見付けている児童を称賛するとともに、記入

	<p>う。</p> <p>T 同じ班の人と、「すてき」を見せ合っこしましょう。</p> <p>C そうそう、〇〇さんは、二重跳びができるんだよね。すごいなあ。</p> <p>C 〇〇さんは、1年生だけでなく、みんなにとっても親切だよね。</p>	<p>が円滑に進んでいない児童には、具体的に成長を伝えるなど、「すてき」があることを伝える。</p> <p>◎友達に書いてもらった「すてき」を見合う時間を設定することで、互いの「すてき」をかけがえのないものであるととらえられるようにする。(技能)</p>
<p>5分</p>	<p>5 振り返り</p> <p>T 自分の「すてき」をたくさん発見できましたね。どんな気持ちになりましたか。</p> <p>C たくさん「すてき」を発見できて、とてもうれしかった。</p> <p>C もっと自分が好きになれそう。これからもいろいろなことをがんばりたい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・授業後、ワークシートは教室内など児童が見える場所に掲示する。 ・ワークシートを掲示することで他の人の成長も喜べるようにする。

IV 資料

(1) 板書例



(2) ワークシート1

👣すてきなじぶん はっけんのたび👣

なまえ ()

☆「すてき」とは、あなたがこの1年かんでがんばってきたこと、できるようになったことです。シャボンだまの中にたくさんかきましょう。

☆大きなシャボンだまには、じぶんのかおをかきましょう。

☆ほしには、ともだちに「すてき」をかいてもらいましょう。

じぶんのかおをかきましょう

すてきなじぶん だいはっけん!

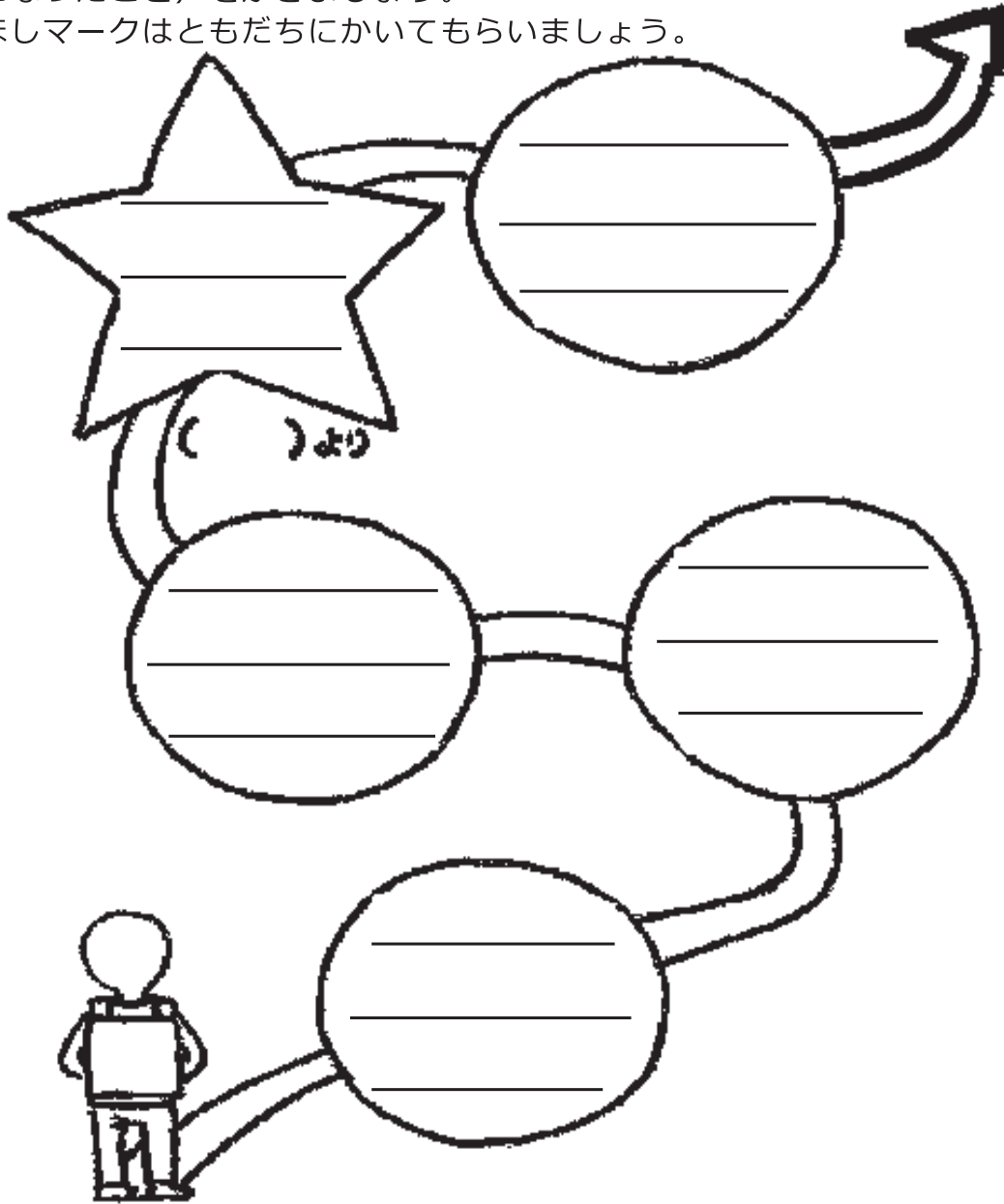
(3) ワークシート2

すてきなじぶん はっけんのたび

なまえ ()

○1年かんでみつけたじぶんの「すてき」(がんばったこと、できるようになったこと)をかきましょう。

○ほしマークはともだちにかいてもらいましょう。



すてきなじぶん だいはっけん!